

キリスト教保育

年主題
ともにつむぎだす
（希望の中で）

連載
子どもの健康 栄養
田中弘美

小論
外国につながる子どもや保護者への配慮
咲間まり子



7

2023 JULY.

わたしは御顔を仰いで満ち足り、喜び祝い
右の御手から永遠の喜びをいただきます。

聖書 新共同訳・詩編16:11

聖書の中に書かれている「喜び」は、神が人間の人生の日々の労苦に添えて与えられたものと語っています。

今月の聖句の「御顔」と「右の御手」は、神の存在を表す言葉です。神がいますという事が、私たちが喜びで満ち足らせるのです。私が御顔を仰ぐ、神が御顔を私に向けられる（詩編21:7）ということが、神の存在を具体的に表します。

もう一つの「喜び」は、「永遠の喜び」で、神が運んで来られるのだと言っています。ここで究極的な喜びにあずかるわけです。本当に心ゆくまでの喜びがあるのです。神が手ずから、私たちのために備えられた喜びが、とこしえに続きます。神の生ける力、神との交わりに対するこのような喜びに、聖書の信仰の底力が秘められています。

保育における「喜び」「楽しみ」とは、何でしょうか。「自分の楽しみのために」という間違っただけの動機（ヤコブの手紙4:3）では、みんなの喜びを壊してしまいます。本当の喜びは、もっと人格的なものだと思います。子どもと保育者、子ども同士の「信頼」が大事なのです。

聖書の言葉に

『愚か者は悪だくみを楽しみ、英知ある人は知恵を楽しむ』（箴言10:23）

『そのとき、あなたは主を喜びとする』（イザヤ書58:14）

とあり、「知恵」と「主」とは、人格を表しています。

友だちとの遊びの中で、「友だちを喜ぶ」「遊びを分かち合う喜び」「友だちを信頼し、信頼される喜び」を育てていくことが大切です。そのためにも、自らが『喜びをもって生き』（詩編34:13）ことが大切です。

（宗宮 進・執筆 当時・日本キリスト教団津山教会牧師 田町保育園園長）
1989年『キリスト教保育』誌7月号より

キリスト教保育

第652号7月号



年主題

ともにつむぎだす

～希望の中で～

幼子とともにキリストへ	2
目次	3

〈巻頭言〉

他者の他者性と己の唯一無二性	竹橋寛	4
----------------	-----	---

〈論説〉

ウイズコロナ、アフターコロナ時代の		
-------------------	--	--

子育て・子育てに向けて	坂上裕子	6
-------------	------	---

〈小論〉外国につながる子どもや

保護者への配慮

関ままり子	14	
聖書に聞く・お話	山本香織	20

【カリキュラム】

7月 月のねがい表

心にとめて 寺田千栄

実践報告 愛和保育園

実践からの学び 犬童れい子

絵本のとびら 石橋エリ

心にとめて 田中洋子

実践報告 野毛山幼稚園

実践からの学び 西川恵

23 24 26 30 31 32 34 39

〈連載〉子どもの健康	田中弘美	40
〈連載〉キリスト教の行事		42

からたちこどもえん

目福口福耳福

礼拝のお話

風 塚本潤一 編集子 東義也

連盟だより

47 48 58 59

表紙絵
カット

田中横子
中畝治子 金井ユリ
松成真理子 こだいみのり

